

第1回 臨床医学委員会 臨床研究分科会（第25期）議事録

日時：2021年2月19日（金）13:00～13:30

形式：Web会議

出席者：上野義之、佐藤典宏、竹内 勤、田中教雄、名越澄子、平沢 晃、
山本晴子

欠席者：茶山一彰

議 題

1) 委員長、副委員長、幹事の選出

委員長：名越委員、副委員長：山本委員、幹事：田中委員が全員一致で選出された。

2) 特任連携会員について

名越委員長より日本医学会連合から本年1月に発出された提言「健康危機管理と疾病予防を目指した政策提言のための情報分析と活用並びに人材支援組織の創設」が紹介された。今後、緊急事態における臨床研究のあり方を討議するうえで、生命倫理の専門家の参加が必要とされることから、東北大学大学院文学研究科社会学専攻分野の田代志門先生を特任連携会員として推薦することが全員一致で承認された。

3) 今後の検討課題について

・緊急事態における臨床研究について

IC や倫理審査の簡略化への方向だけでなく、健康な若者を意図的に新型コロナウイルスに感染させる臨床研究が英国の倫理審査で承認されたニュースを受けて、緊急事態の臨床研究と倫理などについても取り上げる

・得られた情報や試料を個人と研究者がどのようにシェアしていくか、遺伝子例外主義からの脱却も含めて議論する

・各施設の倫理委員会の質の担保について

・臨床研究法の問題点について：手続きやコストなどに関連した研究件数の減少

・臨床研究・倫理に関わる法体系について

・臨床研究のあり方

・前向き観察研究と介入研究の違い

「緊急事態における臨床研究」は課題として取り上げることで同意が得られた。次回の分科会では、田代委員を含めて今後の方向性を決めることとなった。必ずしも提言を発出する必要はないが、社会的課題として多分野の講師を交えてのシンポジウムなどを行い積極的に発信していくことが提案された。